

社会の負託と会員相互の交流

専務理事 根本 裕一

羽田空港ギャラクシーホールにて6月16日に無事「第52回通常総会」を終えることができました。この場をお借りして会員の皆様の日頃の当協会へのご尽力に感謝申し上げますと共に、「公益社団法人日本航空機操縦士協会のめざすもの」を噛み締め、「第53期重点施策」をしっかりと行っていきたいと思っております。

今総会において代議員制度導入に関する定款の変更が審議され、可決されました。代議員制度導入の必要性については過日のパイロット誌にも述べさせていただいておりますので詳細には触れませんが、公益社団法人として適正な運営ならびに社会の負託に応えていくために必要な施策であると判断し、導入することを決断しました。これは単に制度上の変更に留まらず、当協会構成員である会員相互にとっても利点も含め、大きな転換点です。

過日のパイロット誌で「＜JAPA 活動を支えていく「者・物・モノ」＞」をお話させていただきましたが、昨年度までの諸施策を展開する中、「活動する人・活動をする人を支える基盤・活動のための原資」にある程度の到達点を見ることができました。その中でもっとも重要であるとする「会員相互ならびに協会事務局と会員」の双方向の交流（取って交流とさせていただきます）について今期の立ち位置をご紹介させていただきます。

■協会広報誌としての「パイロット」誌

公益社団法人に認定されたことを契機に従来のPILOT誌のあり方を考える検討会が2013年より数回開催され、常務理事会に答申されました。（PILOT誌は従来の機関紙、パイロット誌は現在の広報誌としています：以下当時の議事録より抜粋）

PILOT 誌の目的

- ▶会員に対しての協会からのお知らせや広報、福利厚生ならびに活動報告（会報誌としての役割）
- ▶会員に対する知識付与（教材的な役目：経験付与も含む）
- ▶委員会の活動報告（研究誌的な役目）
- ▶航空に関して興味を持つ不特定多数の者に対する発信（情報誌的な役目：会員募集も含む）
- ▶同窓会誌的な回顧録

以上のような目的が考えられるが、それらの目的を現行のPILOT誌に求めると総花的になり、且つ、読者側から考察すると、これらの目的に対する個々人の要求度には差があり、これがPILOT誌の内容と合致しない場合が考えられる。加えて、公益社団法人の性格上広報誌的な性格が今後より強く要求されることから新しいパイロット誌の編集方針を以下のように答申する。

- ▶目的：会報誌として発行する
- ▶内容：TOPIX、事務局お知らせ、各委員会のダイジェスト、对外活動報告、通達等変更点要約、リクルート情報広告等
- ▶発行：年2回
- ▶担当：事務局が編纂発行する（必要に応じて委員会等に協力要請を行う）

この答申に加えて、従来のPILOT誌の内容をよりタイムリーに発信することの重要性を鑑み、WEBの活用の必要性が強く述べられていました。

昨年度広報会議を立ち上げ、この答申を踏まえながらさらなる検討が重ねられました。その結果、パイロット誌は公益社団法人の顔として、会員の方々だけではなく一般の方々も対象とした広報誌として明確に位置付け、編集・発行していくことになりました。

■ホームページにおける情報発信

前述したとおり今後のパイロット誌の編集方針は広報誌としています。そこで従来のPILOT誌に掲載されていた会員向けの技術情報や通達等の有益な情報、会員相互の交流の場をホームページにて行うこととしました。

主要企業でも多数採用されているGoogle Apps（個人が利用できる汎用のGoogleメール等とは全く違うもので、セキュリティの堅牢さでは定評があります）を導入し、従来のホームページに加えて、会員個々に付与された「japa.or.jp」のドメインで会員専用のホームページを閲覧することを可能としています。

この会員専用のホームページでは、協会の各種規定や理事会議事録の閲覧ができるようになり、リアルタイムのカレンダー表示機能により協会の動向がわかり、必要な技術情報も入手することができます。

これに加えて、会員相互の交流や疑問点の解消等を目指したフォーラムや掲示板、質問コーナーも設置されています。例えば質問コーナーに寄せられた質問は担当の委員会やその他に照会され、質問者に返されます。加えて質問者の同意が得られればホームページ上に公開され、情報共有されます。なお、質問者の名前等は情報管理者しか知ることができません。（委員会等への照会時には名前が伏せられます）

まだ運用をはじめて日が浅いため質問も多くはありませんが、「管制官のヒアバックはどのように規定されているのか」に対してAIM編集にも大きく関わっているATS委員会からの回答が掲載されていますので、是非ご覧ください。

公益社団法人として「社会の負託」に応えていくことに加えて「会員の期待」に沿うことは時として相反する場合も出てきます。しかし、当協会はあくまでも会員主体であることに変わりはありません。このことを役員一同今一度認識し、協会運営を行っていく所存です。

JAPA Report

第52回通常総会開催報告

公益社団法人日本航空機操縦士協会「第52回通常総会」が平成29年6月16日（金）「ギャラクシーホール」（東京国際空港第一旅客ターミナルビル）にて開催されましたのでご報告申し上げます。

冒頭、根本専務理事が開会を宣言し、総会が開始されました。はじめに、下枝会長より会員各位の協会活動への支援、協力についての謝意があり、日本で唯一のパイロットの公益法人として、社会に貢献し、期待されている役割を果たしていくことを述べられました。

引き続き、総会議長選出にあたり堤正行会員が推薦され、満場一致の賛成を得、議事録署名人には、大島梓会員、吉松聖也会員の2名が指名され、了承を得た後、議案の審議に入りました。

◆議案◆

【審議事項】

- 第1号議案 平成28年度事業報告および決算報告について議案書の通り承認されました。
- 第2号議案 定款の一部変更について（代議員制度導入に伴う、定款第5条（種別）の項目追加、及び関連条項の一部変更、附則の追加）議案書の通り承認されました。
- 第3号議案 役員の選任について議案書通り承認されました。

【報告事項】

平成29年度事業計画および予算について議案書のとおり報告されました。以上をもって議案全ての審議を終えたため、堤議長は議事の終了を宣言し、最後に根本専務理事より閉会の挨拶がありました。



下枝会長 総会挨拶 要旨

皆様 こんにちは。会長の下枝でございます。本日は皆様お忙しい中、「第52回通常総会」にご出席いただきまして、ありがとうございます。また、日頃から当協会の活動にご支援ご協力を戴いております事につきまして、この場をお借りして、御礼を申し上げます。さて、本日、総会の議案、審議事項は3件でございます。第1号議案、平成28年度の事業報告等、のちほど根本専務理事より、ご報告申し上げますが、まず私から総括的なご説明を申し上げたいと思います。平成28年度の活動については、航空文化の観点では航空教室、セミナーの開催や出版事業等、当初計画通り実行致しました。また、次世代を担う準会員の勧誘活動を積極的に行うとともに、昨年度に続き会長奨励賞を授与致しました。残念ながら、昨年も小型機の事故が多発しました。航空の安全確保につきましては、例年通り安全講習会、各種セミナーを開催。加えて、TEM/CRM講習会を開催しました。特定操縦技能審査、VOICESの活用と合わせて安全の向上に寄与すると考えております。また、私どもの活動の基盤である会員数につきましても増加しておりまして、お陰様で、安定した財務状況を維持することも出来ました。これも、皆様のご努力によるものであり、深く感謝申し上げます。次に、第2号議案は代議員制度導入に関する定款の一部変更についてでございます。また、第3号議案は一部役員の退任に伴う、役員の選任についてであります。

私ども執行部は4年目を迎えます。引き続き今後とも、日本で唯一のパイロットの公益法人として社会に貢献し、期待されている役割を果たさなければならないと考えております。本日はご審議、ご意見を頂戴いたしますとともに、今後とも、協会の運営に一層のご協力をお願い致しまして、私からのご挨拶と致します。

～通常総会懇親会～

通常総会後、引き続き懇親会が開催されました。下枝会長、来賓の高野航空局安全部長よりご挨拶があり、当協会「会長表彰」の表彰式が挙行されました。今回7名の受章者とともに、AIM編纂の任を終えられた石原敬三会員に、協会として永年の功績に対し感謝状が手渡されました。

表彰式を終え、日本航空技術協会 工東常務理事の乾杯のご発声により、開催となり、盛会のうちに終了致しました。



協会長表彰



受賞者	所属
高田 和直 様	フジドリームエアラインズ
小林 一水 様	全日本空輸
北東 良之 様	ジェットスター・ジャパン
鈴木 拓 様	全日本空輸
黒澤 和博 様	エアー・ジャパン
渡瀬 功 様	全日本空輸
松宮 伸明 様	ジェットスター・ジャパン

平成29年春の黄綬褒章

長年業務に精励し、他の模範となるような技術や事績を有する方で、顕著な功労のあった方を対象に黄綬褒章の推薦を行っております。

平成29年春の黄綬褒章には2名のご推薦をさせていただき、5月16日(火)に伝達式が執り行われました。

受賞者の皆さま、心よりお祝い申し上げます。

後藤 順彦 様
(ソラシドエア 操縦士)

後藤 喜一郎 様
(琉球エア・コミューター 操縦士)



新理事紹介

理事 柳井 研二



この度、理事に就任した柳井 研二と申します。JAPAに入会して30年余り、現在、読売新聞東京本社 航空部で飛行機(ビジネスジェット)とヘリコプターの両方に乗務しています。また、新聞航空懇談会(朝日、毎日、産経、中日、読売)の代表としCARATSのPBN関連会議に参加するなど、小型航空機のRNAVの発展等のお手伝いをしています。今までの知識や経験を活かし、皆様のお役に立てるよう活動したいと思っております。至らない点もあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。

職員

総務部長 戸高 英二



6月1日付でJAPA事務局に配属されました。

前職のエアラインには1986年に事務系地上職として入社し空港旅客部門配属後、運航乗務員の乗務割作成、運航業務、HR(Human Resource)、乗員総務、運航訓練企画部門および統合推進事務局等主に運航乗務員と関わりのある部門に長く在籍し様々な知見識と経験をさせていただき、また多くの運航乗務員の方々にもいろいろとお世話になり、私にとって貴重な財産となっています。

近年、世の中はもの凄いスピードで変化し、航空界においても規制見直しや技術進歩により、様々な面で既成概念が変わってきており、仕事のしくみの見直し・働き方改革・IT化・見える化・迅速性等が求められています。JAPA会員の皆さまと共に何を思い、心をひとつにしていかに実行していくか、それらがこれからのJAPAの新しい歴史を創っていくものと考えます。

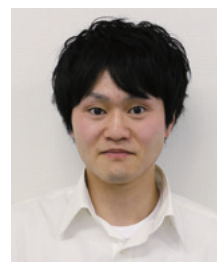
JAPAの社会的プレゼンス・価値が一層向上し、定款にあるミッションが円滑に達成できるよう、私もこれまでの経験を活かし、JAPAが取り組んできたことをしっかり継続しながら、自ら発想し新しいことにチャレンジして、時代のニーズにあった事務局運営に努めていく所存です。

オフィスに来られました際には、是非お声掛けいただければ幸いです。

皆さまのご指導・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

臨時職員

事業サポート部 岸 晋禎



趣味…プロ野球観戦、ドライブ

抱負…6月1日付けにて、臨時職員として勤務しております岸と申します。会員の皆様のお役に立ち、「我が国航空の健全な発展に寄与する」ため努力していく所存でございます。至らない点多々あるかと存じますが、皆様からのご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

代議員選挙の公示について

第 52 回通常総会において、2018 年 1 月 1 日より代議員が総会の構成員として議決権を持つことを決定しました。また代議員は、正会員からの立候補および推薦に基づく代議員候補者から正会員の信任投票により選出することになっております。

(代議員選挙規程：協会 HP 掲載)

つきましては、代議員選挙規程に基づき、下記の通り代議員選挙の実施について公示します。

記

1. 代議員：定数 50 名

2. 任期：2018 年 1 月 1 日～2020 年 3 月 31 日

初回となる本選挙において選出される代議員の任期は 2 年 3 ケ月となります。

3. 立候補の届出

(1) 立候補者

①	立候補者の資格	本協会の正会員
②	立候補の必要条件	2 名以上の正会員による推薦
③	手続	以下の事項を記載した「立候補届」を、選挙管理委員会に提出する。 ア．候補者氏名（フリガナ） イ．候補者会員番号 ウ．推薦を受けた正会員の氏名及び会員番号

(2) 推薦候補者

①	被推薦者の資格	本協会の正会員
②	推薦の条件	2 名以上の正会員による推薦
③	手続	以下の事項を記載した「推薦届」を、選挙管理委員会に提出する。 ア．被推薦者氏名（フリガナ） イ．被推薦者会員番号 ウ．推薦した正会員の氏名及び会員番号

4. 立候補・推薦届提出期限

2017 年 9 月 30 日（土）（当日消印有効）

「立候補届」「推薦届」は協会 HP（会員ページ）よりダウンロードし、記入提出願います。

5. 提出先

「立候補届」「推薦届」とともに協会事務局気付選挙管理委員会宛てに郵送または持参願います。

〒105-0004 東京都港区新橋 5-34-3

公益社団法人 日本航空機操縦士協会 事務局 気付 選挙管理委員会 あて

6. スケジュール

2017 年 10 月 31 日までに	代議員立候補者名簿および投票用紙郵送
2017 年 11 月 30 日	投票締切
2017 年 12 月 11 日	選挙管理委員会による開票手続
2017 年 12 月 25 日までに	広報誌および協会 HP への選挙結果掲載

7. その他

ご不明点については次の連絡先にお問合せ願います。

事務局総括部長 田島 茂 （電話：03-6809-2902、ファックス：03-3434-7774、メール：tajima@japa.or.jp）

以 上



JAPA セミナー開催予定

セミナー・講習会名称	開催日時	会 場
航空安全講習会	2017年7月29日(土) 13:00～17:00	(東京) JAPA会議室
	2017年8月26日(土) 13:00～17:00	(北海道) かでる2・7 550会議室
	2017年9月3日(日) 13:00～17:00	(愛知) ウィンクあいち 1007号室
	2017年9月9日(土) 13:00～17:00	(静岡) 静岡県航空協会格納庫
	2017年10月21日(土) 13:00～17:00	(広島) アステールプラザ 大会議室
TEM/CRMセミナー基礎コース	2017年9月25日(月) 13:30～16:30	(大阪) エル・おおさか 501号室
	2017年9月26日(火) 10:30～14:30	
TEM/CRMセミナーSRMコース	2017年10月30日(月) 13:30～16:30	(東京) JAPA会議室
RNAV講習会	2017年7月23日(日) 13:30～16:30	(東京) JAPA会議室
機長養成講習会	2017年9月4日(月) 13:00～17:00	(東京) JAPA会議室
	2018年1月26日(金) 13:00～17:00	(沖縄) 那覇空港国内製旅客ターミナルビル1階多目的会議室
Yes I Can航空教室	2017年9月2日(土) 10:00～17:00	(愛知) セントレアA-1、A-2
	2017年10月14日(土) 10:00～17:00	(福岡) 福岡空港統合庁舎2階A会議室
	2017年11月25日(土) 10:00～17:00	(沖縄) 那覇空港統合庁舎1階会議室
	2017年12月2日(土) 10:00～17:00	(東京) 野村不動産天王洲ビル 2階ウイングホール

各回定員がございますので、お申し込みはお早めに

お申込・詳細はホームページをご覧ください

www.japa.or.jp

団体割引 15%で加入しやすい保険です。

JAPA団体保険のご案内

JAPA 団体保険の概要

●団体長期障害所得補償保険（ロスオブライセンス）

- ・最長 65 歳まで補償
- ・うつ病等の精神障害による就業障害を最長 2 年まで補填

●団体総合補償制度

- (1) 「団体総合補償制度」はケガ、病気、日常生活における賠償などに備える制度
- (2) 「傷害保険」「がん保険」「医療保険」の 3 プランがあり、単独でも組合わせてのご加入可能
- (3) 団体割引を適用していますので、割安な保険料
- (4) JAPA 団体保険への加入対象は申込時点で JAPA 会員ご本人およびそのご家族

	パイロット業務による勤労所得がある方	パイロット業務による勤労所得がない方
団体長期障害所得補償保険	○	×
団体総合補償制度	○	○

●JAPA 団体保険の保険期間

- ・平成 29 年 3 月 1 日午後 4 時から 1 年間
- ・ご加入後は解約やタイプ変更のお申し出のない限り前年同条件で自動継続されます。
- ・保険期間中での中途加入も可能です。

※上記は JAPA 団体保険の概要をご案内したものです。 詳細については、JAPA HP（<https://www.japa.or.jp>）会員特典ページをご参照ください。

お申込み・お問合わせ先

取扱代理人：株式会社 JALUX 保険サービス

TEL:0120-25-8400 FAX:03-5460-7221 ※音声ガイダンスのあとに③番を押してください。

（営業時間） 月～金 9：00～20：00、土 9：00～17：00 日、祝日、年末年始を除く

〒140-0002 東京都品川区東品川 2-5-5 ハーバーワンビル 6F

皆様の
ご入会を
お待ちしております！

日本航空機操縦士協会は会員を募集しています。

**JAPAは公益社団法人として内閣総理大臣より
認定を受けた日本唯一の操縦士団体です。**

目的：本協会は、航空技術の向上を図り、航空の安全確保につとめ航空知識の普及と諸般の調査研究を行い、もって我が国航空の健全な発展を促進することを目的としています。

協会の会員は、下記のように分かります。

正会員：協会の目的に賛同して入会された方で、原則として操縦士技能証明をお持ちの方です。

賛助会員：協会の事業を賛助するため入会した個人または法人です。個人賛助会員は、満 16 歳以上の操縦士技能証明を持たない方で、法人賛助会員の資格は、特に定めはありません。

正会員
年額18,000円

個人賛助会員 (A) *
年額18,000円

個人賛助会員 (B)
年額6,000円

法人賛助会員
年額50,000円(1口)

*個人賛助会員 (A) は、AIMが配布されます。



航空 ECO 川柳コンテスト作品募集

《未来に残す私たちのかけがえのない宝物 “地球”》

今年も第3回航空 ECO 川柳コンテストを開催いたします。

航空に関するエコを意識した川柳を募集いたしております！

入賞者には特典もありますので奮ってご応募下さい。

お申込方法などの詳細は操縦士協会ホームページをご覧ください。

<https://www.japa.or.jp/>

【募集期間】 2017年7月31日まで

【受賞特典】

・最優秀賞	(1作)	5,000円クオカード
・優秀賞	(4作)	3,000円クオカード
・審査員特別賞	(7作)	1,000円クオカード
・ECO賞	(6作)	特製クリアファイル

【選考方法】 2017年8月に選考会を実施、ホームページにて発表します
受賞者の川柳は2018年パイロット手帳に掲載します

第2回 ECO 川柳 受賞作品 (上位5作品)

最優秀賞	エコ飛行	地球が「いいね」と	いっている	清詩薫
優秀賞	ルーティンの	エコ操縦は	5重丸	PON5
	綿密な	整備が支える	空のエコ	キンタロー
	地球への	感謝のかたち	エコ飛行	伊奈蔵
	CO2	減らす国産	技術力	フーマー

パイロット

発行

公益社団法人 日本航空機操縦士協会
(Japan Aircraft Pilot Association)

禁無断転載

落丁・乱丁本がありましたらお取替えいたします

〒105-0004 東京都港区新橋5-34-3

TEL 03-6809-2902(代) ホームページ URL <https://www.japa.or.jp/>

FAX 03-3434-7774 E-mail: japa@japa.or.jp

編集 広報会議

発行 根本 裕一

印刷 星光社印刷株式会社